

□□ じぶんの□ がっこの□ てんじ □としょの□

しょ だなわ、□よっつの□きょーしつの□おくの□か べに□

おさまるほ ど しか□ありません。□□か ず おの□あたまの□

なかわ、□ぼー だ いな□りょーの□てんじ □としょ が□

はてしなく□ならん で □いる□よーす で、□いっ ぱいに□

なりました。

□□ (そんな□と しょかん が□ほしい！□□まいにち□あたらしい□

ほんを□よん で も□よん で も、□よみきれないくらいの□てんじ□

としょ が □あたらなあ)

□□あこ が れ で □あたま が □いっ ぱいに□なった□

か ず お で す が、□や が て□はっ と□かおを□あ げ ました。

□□ (そーか！□□ほしいなら□ じぶん で □つくれ ば□

いい じゃ□ないか！□□そー だよ、□ないのなら□つくろー)

□□むねの□そこから、□じ わ じ わと□ちから が □わいて□

きます。

□□（てん じ □としょかんを□つくる□ー。□□これこそ□

ぼ く が □もとめて□いた□みち だ。□□こんな□りっ ぱな□

やりがいの□ある□しごとが、□あったじゃ□ないか！)

□□そー□か ず お が □かたく□おもいさ だ めるのに、□

じ かんわ□かかりません でした。

金治直美(かなじ なおみ)著

『読む喜びをすべての人に 日本点字図書館を創った本間一夫』佼成出版社

2019年 第5章より

https://yougu.nittento.or.jp/product/1791_132.html